



なかむら しげひろ  
**中村 茂裕** 教授

専門分野

ドイツ文学

主に19世紀の幻想的なドイツの文学作品を研究しています。

**Q** 担当科目を教えてください。

**A**

【ドイツ語総合】

専門科目として、ドイツ語圏の時事問題を取り上げ、一つのテーマを4回ほどの授業で、細かく説明し、分析します。原文はドイツ語なので、ドイツ語の読解力を磨くことになります。

ドイツで今、何が起きているのか、何が問題になっているのか。それが問題です。

【外国理解演習(ドイツ語圏)】

ドイツ語圏の作家の文学作品と、それを原作とした日本のアニメ作品を取り上げ、比較し考察します。具体的には、ヨハンナ・シュピリの『ハイジ』と高畑勲のアニメ『アルプスの少女ハイジ』と取り上げます。

ハイジの世界へようこそ。

**Q** 専門分野に関する研究テーマの魅力を教えてください。

**A**

ドイツ文学は、本来楽しむためのものだったはずが、研究対象として扱うことになり、それだけでは行かなくなりました。そこで、私はあれこれ考えながらドイツのロマン派文学を研究し、幻想と現実のはざまを行き来する文学の世界を一字一句解釈し、幻想世界と現実世界の入り乱れるさまを解き明かそうともがくのです。その「もがき」が魅力なのだとと言えるかもしれません。

**Q** 先生の人となりを教えてください。

**A** かつては、ひたすら歩いていました。一回10キロ以上を目標に、奈良方面へ自宅から信貴山も越えて、大和郡山や法隆寺へ20キロ。  
南へは、大和川を越えて、石川沿いを滝谷不動まで、往復40キロ。  
北へ向かっては、瓢箪山から暗がり峠を越えて、宝山寺へ。往復30キロ。  
しかし、それも今は昔。今では寝る前の一時間ほど、本を読むことが慰めとなっております。

**Q** 学生のみなさんへメッセージを！

**A** とりあえず、本をよみましょう。